

大和川中学校



(令和6年5月1日現在)

所在地	〒558-0032 住吉区遠里小野2-11-4		
電話	06-6694-0005	F A X	06-6694-1573
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j732663		
校長名	吉本 恵美		
生徒数	270名	教職員数	30名
学級数	10学級(うち特別支援学級2)		
標準服	学校指定のブレザー ポロシャツ		

学校概要

本校の校歌の1節に「真理の道を求めんと 集い来りし若人の 築きあげたる 大和川」とあります。真理の道を求める若人が夢と希望を燃えたぎらせて集う学び舎として、昭和47年(1972年)9月、大阪市立三稜中学校の分校として開設。昭和48年4月1日より大阪市立大和川中学校として1期生を迎え開校いたしました。

教育目標

1. 全ての生徒が安全で安心して通える学校、学びを深める教育環境の実現を図る。
2. 命を考える教育活動を柱とした「平和維持学習」の取り組みにより、『自立する力、他者を意識し思いやる心』の育成を図る。
3. 生徒一人一人の学びを最大限に引き出す、個別最適な学びの実現を図る。
4. 国際社会において生き抜く力の育成を図り、規範意識及び自己統制力の向上を目指し、健康でたくましい心身の育成に努める。

校長メッセージ

校訓「自学・友愛・自律」のもと、「命を考える」教育活動を柱とした平和維持学習を深め、「自律する力、他者を尊重し思いやる」心の育成に力を入れ、すべての生徒が安全で安心して通える学校づくりを全教職員一同、力を合わせて進めています。

日々の教育活動では、自主自律の精神を育むために「時を守り、場を清め、礼を正す」を取り入れ、時間を守ることの大切さや責任感、清掃活動を通じて心を磨き、心のこもったあいさつ運動など、目的意識を高く持ち、仲間との絆を深めています。さらに、地域の担い手として、地域清掃や地域行事へ積極的に参加することで地域貢献に努めています。

また、個別最適な学び環境の工夫や主体的・対話的で深い学び、全教職員が「つながり」(信頼関係)を大切にした教育活動で学力・体力の基礎・基本の定着と学ぶ力の育成を図っています。

学校、家庭、地域との連携を大切にしていくことで、子どもたち一人一人が健やかに成長し、将来の夢や希望を実現できる大きな力になると考えます。

大阪市立大和川中学校 校長 吉本 恵美

学校行事

- 4月 入学式、始業式、1年宿泊オリエンテーション、全国学力・学習状況調査、土曜授業各種健康診断、部活動結成
- 5月 単元テスト開始
- 6月 3年修学旅行、2年一泊移住、夏季到達度テスト、
- 7月 教育相談、期末懇談
- 8月 夏休み学習会
- 9月 3年チャレンジテスト、前期期末テスト、教育相談
- 10月 文化発表会、前期終業式、後期始業式、生徒会選挙
- 11月 体育大会、進路懇談
- 12月 2年職場体験、教育相談、進路相談
- 1月 1・2年チャレンジテスト、3年後期期末テスト
- 2月 新入生保護者説明会、進路相談、1・2年後期期末テスト、1・2年芸術鑑賞
- 3月 卒業式、教育相談、修了式

部活動

- 【運動部(7)】 野球部・サッカー部・陸上競技部・バスケットボール部(男子・女子)・卓球部・バドミントン部
- 【文化部(4)】 吹奏楽部・美術部・技術研究部・家庭科部

沿革

- 昭和47年9月 三稜中学校分校設置
- 昭和48年4月 創立開校式並びに入学式挙行
- 昭和51年11月 校歌発表式典挙行大阪府音楽団
- 昭和57年11月 創立10周年記念式挙行
- 平成14年11月 創立30周年記念式挙行
- 平成22年7月 PTA広報誌7月号市長賞受賞
- 大和川清掃奉仕活動(18年間)河川事務所長賞
- 平成24年11月 創立40周年記念式挙行
- 平成25年12月 第1回大和川地域音楽フェスティバル開催
- 平成26年2月 校舎外壁全面塗装
- 平成29年9月 完全給食開始
- 令和2年11月 体育館空調設置
- 令和4年11月 創立50周年を祝う会

▶大和川中学校の特色 令和6年度

①ICT教育の充実

昨年度は大阪市の研究指定校として、また文科省の試験校として機器の充実並びに自動採点、項目別評価の充実。すべての教員が他学年の生徒のことも瞬時にわかるシステムを導入。これらによって不得意項目を精査し、成績向上を図り、生活面においてもきめ細かな対応につなげている。

各教科では、教育ICTを活用した授業づくりを進めている。

②宿泊オリエンテーション(1年) 一泊移住(2年) 修学旅行(3年)

泊行事とその準備を通じて自律した“考動”と協力を学ぶ。特に1年生では、入学後すぐに行い、中学生になったことを体感させる。2年生では自分たちで運営し、それぞれの生徒がそれぞれの場所でのリーダーとして活躍できるようにする。

3年生の修学旅行は自立した母集団が“公”を意識した“公動”を取ることができ、協力して物事に取り組むことのできるクラスや学年の“生徒力”を高めることを目的とする。また知覧特攻平和会館を訪ねて平和を維持する学習をすることで、歴史と先人の思いに触れ繋がりたいのちのありがたさを知る。そして、今の私たちの身の回りに起こる身近な平和について深く考える機会とする。

③黙食・黙働清掃

黙食

食育の観点から

ア、いのちを「いただきます」すなわち食材(いのち)への感謝や調理していただいた方や運搬していただいた方への感謝の心を育てる。

イ、脳の活性化や唾液の分泌を増やし消化を助け、栄養素を高めるためにも、一口10〜20回、1回の食事で500〜700回の咀嚼が必要である。(戦前は平均1420回)

ウ、公衆衛生的にも食事中会話をしないことでウイルスの拡散を防ぐ。このことが本校のインフルエンザ罹患率が低いことにもつながっていると思われる。

エ、各々が前を向き喫食することで、食の量が調整しやすくなる。

黙働清掃

清掃の目的は、本来保健衛生の観点と環境維持の観点から必要なものである。本校では、清掃活動を行うことで、本来の目的に『謙虚な人になれる、気づく人になれる、感動の心を育む、感謝の心が芽生える活動』そして『心を磨く活動』をプラスして清掃活動の5Kと位置づけ実践している。黙働清掃とは単に喋らずに掃除をすることではなく、一心に黙々と清掃に向き合う中から、協力するために必要な本当の声が生まれてくる。そのことが5Kにつながり生徒どうしの“信”にもつながる。



▶運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 年度末の校内調査における「日々の学校活動や授業、家庭学習の中で学習者用端末やICT機器を活用している」に対して、肯定的な回答する生徒の割合を80%以上にする。

▶令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象:令和5年度の中学3年生)

【平均正答率(%)】

国語	数学	英語
63	38	35

▶令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象:令和5年度の中学2年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	33.46	29.81	47.71	52.50		88.39	7.86	200.71	20.90	45.68
女子	25.79	25.81	41.67	49.65		64.88	8.80	166.31	14.02	52.12